



お お せ ど つ う し ん  
**大世渡通信**

第22号  
【2021年5月】

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆私が下道を使う理由◆

こんにちは。中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、株式会社日本彫刻工芸、代表取締役の大世渡(おおせど)英和です。大世渡通信第22号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、私たちの仕事は中国地方がメインです。そして、現場が決まったり、工事が始まったりすると、お客様のところへ挨拶や打ち合わせをしに行くところから始まります。

県外の山口、岡山、鳥取、島根に行くとき、私は高速を使いますが、打ち合わせが終わった帰りは、時間が少しでもあれば、途中までは下道を使うようにしています。

その理由はいくつかあります。まず、私は知らない街の風景を見ながら知らない道を運転するのが好きです。それから、道の駅でその土地の食材や調味料を購入し、休日にそれを使って料理するのが私の息抜きのひとつになっています。そして、これが一番大きな理由なのですが、実は、下道を使って帰ってくると、新たなお客様とのご縁をいただけることがあるのです。

普段通らないような道を車で走っていると、ふと建設中の建築現場を見かけることがあります。ここは看板が多そうだなと思ったら、飛び込みでその現場に営業に行きます。担当者の方などがいらっしやらなければ、会社名と現場名をメモして、あとで問い合わせをします。

実際に決まるかどうかはタイミングですが、意外と決まることがあるのです。もちろん「いらんよ」と冷たく門前払いされてしまうこともあります。まだ看板屋を決めていなかった、ちょうど看板屋を探しているところだったという現場もあり、さらに言うと、以前、いっしょに仕事をさせていただいた方が、偶然そこにいてということもあります。



今の時代、効率優先で高速でパッと行って、高速でパッと帰って、下道なんて使わないというのが主流かもしれません。ただ、私はこれまでの経験から、ご縁はいろんなところで生まれると感じています。これからも、少しでも時間があるときは、県外での打ち合わせの帰り、下道を使おうと思っています。

◆編集後記◆

先日、妻の車を買って替えました。妻はずっとトヨタのシエンタ(中古)に乗っていたのですが、だいぶ古くなり、買い替えることになりました。人とちょっと違ったものが好きな私は、ファミリーカーに乗せるのもちょっとな……と思い、いろいろ探しに探し、先日、日産から20年くらい前に出たダットサン(6人乗り)にたどり着き、これに決めました。昔の車ですが、とっても格好良く、妻も賛成してくれています。これから、農業にキャンプに大活躍してくれそうです。

■■大世渡通信はいらんよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日 ■血液型:O型  
■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(11歳)、天真爛漫な娘(9歳)

【発行元】株式会社日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6

Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

